

令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	101	豊田市立 崇化館中 学校	代表	松原 秀敏
------	-----	--------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域とかかわり、地域を愛する心豊かな生徒の育成	分野	g	福祉
	サブテーマ 「麦の会」を核としたボランティア活動を通して	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	本校には、昭和51年にボランティア・グループとして立ち上がった「麦の会」がある。平成13年度には、その組織を部活動の中に組み入れ、現在も立ち上げ当初からの精神を引き継ぎ、地域でのボランティア活動に取り組んでいる。令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動の縮小を強いられたが、令和4年度は、地域や施設との関わりを再度強め、地域の活動の拠点となる交流館との連携を深めるとともに、ボランティアの機会や方法を工夫したり、参加人数を限定したりしながら、地域でボランティア活動を進めてきた。令和5年度当初には、「麦の会」や「美術部」に所属する生徒たちが交流館職員と情報交換を行い、ボランティア参加を前提として、地域の質の高い活動づくりに参画していった。また令和6年度は、「麦の会」に所属する生徒たちが全校生徒からボランティアを募り、より多くの生徒たちとともに地域でのボランティアに参加する機会を作って活動を進める。また、国土交通省と連携して行っている「フラワーロード」の活動も、保護者と協力しながら行うボランティア活動として活動を進め、地域を愛する豊かな心の育成を目指す。 また、校内の教育環境・指導体制を整えて生徒の心の安定を図ったり、相談室登校の生徒への対応を行ったりするために「校内整備員」や「心の相談員」を活用し、きめ細かい指導を行っていく。			
活動内容・計画	1. 麦の会を核としたボランティア活動 ・福祉活動：養護老人ホーム若草苑・障がい者福祉会館・子育て総合支援センターへの訪問と行事でのお手伝い ・地域活動：交流館での活動 ・崇化館交流館祭「夢フェスタ」での地域行事スタッフ活動 2. 親子でのボランティア活動 ・国土交通省、育友会（PTA）、地域コーディネーターと連携した「フラワーロード」活動 ・地域会議、育友会（PTA）と連携したあいさつ運動 3. 校内整備員の活用で、教育環境を整えるとともに、校務主任が教育活動にあたる時間を十分に確保し、学校の教育活動を充実させる。			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	○崇化館中学校代表としてボランティア活動をする「麦の会」の生徒の姿が地域で評価され、地域連携を深めることができる。 ○地域と連携してボランティア活動を進めることで、生徒たちが、地域を愛し、地域の中で自主的に行動する力を高めることができる。 ○「フラワーロード」や学校花壇の整備により、学校や地域の景観を豊かにより美しくすることができる。 ○校内整備員の配置で、校内の教育環境を整え、教育現場にふさわしい校内環境を生み出すことができる。また、校務主任が教育活動にあたる時間を十分に確保することができ、教育活動の充実を図ることができる。			
検証方法	・地域施設でのボランティア活動や福祉活動がどのように受け止められているのか、定期的な聞き取り調査を行う。 ・学校評価にかかわる保護者アンケートで、活動に対する保護者の意識調査を行うとともに意見をいただく。 ・コミュニティースクール連絡会議にて、自治区やコミュニティーの意見や要望を聞く。			